

里山の暖かさを感じて...
 ~熊野市神川町の春~



旧神上中学校

熊野古道センターで開催中の企画展「幕末の写真師 田本研造〜土方歳三を撮った男」で取り上げている田本研造は、出生から23歳まで熊野市神川町で暮らしました。

この神川町は、明治末期から昭和初期にかけて、奥熊野から熊野川河口まで材木を運搬した筏師たちが、多く行き交った他、熊野市の特産品の那智黒石が採掘される唯一の場所で、江戸時代には「美しい石」として文献にも記されている歴史ある土地です。

時代が進むにつれて生活スタイルも変わり、日本のあちらこちらで過疎化が急激に進んでいます。神川町もその一つで、現在の人口は380人。静かで穏やかな里山の小さな集落ですが、ここには訪れる人を引き付ける不思議な魅力が宿っています。生活している人びとの営みによってつくり上げられてきた身近な自然の姿は、訪れる人の心を和ませられます。それは、忘れかけた日本の原風景が維持されている神川町そのものが癒しの空間と言えるからでしょう。

春は、町のあちこちで1500本余りのソメイヨシノやヤマザクラが咲き始め、里に暮らす人や訪れる人々に笑顔が増える季節です。



立派な石垣が残る田本研造屋敷跡



民家の片隅に咲く桜

桜並木が続く神川

4月7日には神川町神上地区で、歌あり、踊りありの『第26回 神川さくら祭り』が盛大に開催されます。神川で暮らすみなさんの、少しでも多くの人に楽しんでもらいたいという気持ちが溢れるイベントです。熊野の奥深い秘境・神川町を訪れ、桜の町神川の美しさと、地元の人たちの暖かさに触れてみてはいかがでしょうか。

神川町アクセス方法

名古屋方面から 東名阪自動車道▶関JCT▶伊勢自動車道▶紀勢自動車道▶紀伊長島IC▶国道42号▶海山IC▶尾鷲北IC▶国道42号▶国道309号▶国道169号▶七色ダム▶神川町内へ

大阪方面から(伊勢自動車道経由) 西名阪自動車道▶名阪国道▶関JCT▶伊勢自動車道▶紀勢自動車道▶紀伊長島IC▶国道42号▶海山IC▶尾鷲北IC▶国道42号▶国道309号▶国道169号▶七色ダム▶神川町内へ

大阪方面から(奈良経由) 南阪奈自動車道▶葛城IC▶吉野▶国道169号(約3時間)▶七色ダム▶神川町内へ



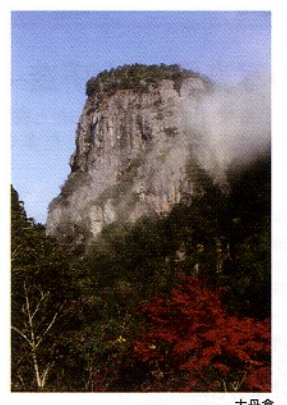
熊野古道からの
てがみ

熊野古道からの
てがみ
26 通目

こんにちは、一昨年の台風12号により熊野川町で住んでいた家が全壊し、育生町に移り住みました。

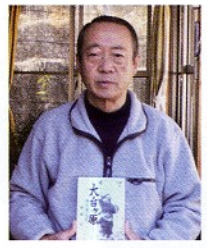
「育生町は、熊野市街から車でおよそ50分、山峡の台地にある山紫水明の美しい町です。町の中央を一級河川「尾川」が流れ、上流の赤倉地区にかけてとても美しい峡谷が続いています。途中、「雨滝」や「ガンガ滝」、「大丹倉」や「表丹倉」という景勝地もあります。四季を通して楽しめる処ですが、特に春には花好きの人達が手塩にかけて育てた色々な花が咲き乱れ、さながら「桃源郷」に見紛うばかりです。珍しい山野草の群落もあります。日本の原風景をおもわせる田園風景や「どぶろく祭り」で有名な大森神社を初めとした歴史・文化が今も息づく町です。御多分にもれず過疎の地ながら、住む人の人情は厚く、安心して住める町です。

今、地域の皆さんが激辛唐辛子のハバネロ、ブート・シヨキア、タバスコ等々を無農薬で栽培しており、特産品とするため努力をされています。私は山が好きで、2011年1月1日に「癒しの山、大台ヶ原、開山行者の生涯」という本を出版しました。



大丹倉

恐らく殆どの人が知らなかったであろう大台ヶ原開山の経緯や伝説、さらには本物の日本オオカミと出会った人の話をわかり易く、読み易く書いています。好評のため今回第3刷増刷を行いました。出来るだけ多くの方に読んで頂きたくて、尾鷲の「ウイズ・ユー」新宮の「荒尾成文堂」、育生町の「ちやや」「大台ヶ原物産展」等に置かせて頂いています。古い歴史に触れ、新しい風を感じ、癒しを求めて、まあいつべん育生町へこいやれ!



杉岡 昇さん
 (熊野市)

筆リレ
 次は 尾鷲市の湯浅久美子さん

花尻 薫からの季節のたより No.26

サネカズラ 一名 ビナンカズラ(美男葛) モクレン科

サネカズラとは奇妙な名前ですが、サネは美しい実のカズラという意味の例えであると書物に記してあります。

私は平成4年頃熊野地方の古老に、植物の方言を聞いて歩きました。熊野市有馬町では、シャンブーカズラ、井戸町ではサネカズラ、金山町ではトロカズラ、木本町ではビナンカズラなど呼び名は地方によって様々で、たいへん興味深く感銘いたしました。

サネカズラの花は初夏の6月頃、薄黄色の花を咲かせ、秋には小さな赤色の球形の実をつけます。地方名ではシャンブーカズラと教えられた今の古老たちは、幼い頃、川で水泳をする際、シャンブーカズラの蔓を切りとり、日本手ぬぐいを袋状にしてこの中に入れ、石の上でたたくと、ねばねばの液が出てくるので、この液を頭につけて髪を洗ったと教えてくれました。大きな川や小川の近くにはサネカズラ

が多く生えており、シャンブーカズラは今のシャンブーの代用品であったことが解明されました。

女性の髪をオンナカズラと言わないのは、女性の髪は最初から美しく、しなやかであると称賛をおくっていますが、実際は男女ともに利用していたのです。

このサネカズラは関東以西、四国、九州、沖縄の山野に野生していて、中国大陸や台湾にも分布しています。



サネカズラ

センター敷地内『夢古道おわせ』へぜひお立ち寄りください!

お母ちゃんのランチバイキング
 尾鷲・東紀州の食材をふんだんに使った、地元のお母さんの味です。

営業時間: 11:00~14:00
 料金: 中学生以上...1,200円
 小学生以上...700円
 4歳~小学生...300円
 乳幼児...無料
 60歳以上...1,000円

みえ尾鷲海洋深層水「夢古道の湯」
 深海415メートルから取水された海洋深層水のお風呂。ミネラル分が豊富で保温性に優れているので、湯上がり後もポカポカです。

開館時間: 10:00~21:00
 入浴料: 一般...600円
 65歳以上...500円
 4歳~小学生...300円
 4歳未満...無料

お風呂がカプセル、カフェがまったり
 営業時間: 9:00~21:00 (最終受付 21:00)



●お車で越しの方は...
 国道42号線尾鷲市内一矢ノ浜南交差点を海側へ曲がる→突き当たりを右折→県道を海沿いにしばらく走り、案内看板を右折して到着です。(国道から約10分)

●電車で越しの方は...
 ■JR尾鷲駅下車→ふれあいバス「尾鷲駅」バス停(徒歩1分)、または三重交通「尾鷲駅前」バス停(徒歩5分)乗車→「熊野古道センター前」下車
 ■松阪駅
 →南紀特急バス「熊野古道センター行」終点下車(約2時間)

★熊野古道センターニュースレター★
 “熊野古道センターからのてがみ 2013年春号”

- 発行日:2013年3月25日(季刊)
- 編集・発行:三重県立熊野古道センター(三重県指定管理者 NPO法人熊野古道自然・歴史・文化ネットワーク)
- 編集担当:東
- 連絡先:
 〒519-3625 三重県尾鷲市向井字村島12-4
 TEL 0597-25-2666
 FAX 0597-25-2667
 Mail info@kumanokodocenter.com
 HP http://www.kumanokodocenter.com/
- 開館時間:午前9時~午後5時
- 入場料:無料
- 休館日:12月31日、1月1日(その他メンテナンス時休館)
- 6000130325MH

フォトコンテスト結果発表!!

6回目となった熊野古道フォトコンテスト。多くの方にご応募いただきありがとうございます。風景や祭りを通じて「東紀州の四季」をテーマに、写真家・竹内敏信氏を審査委員長に迎えた【とっておき部門】と、「私だけの東紀州」をテーマに東紀州内での思わず人に見せたいような写真を募集した【お気軽部門】の入賞作品を発表致します!

とっておき部門

最優秀賞

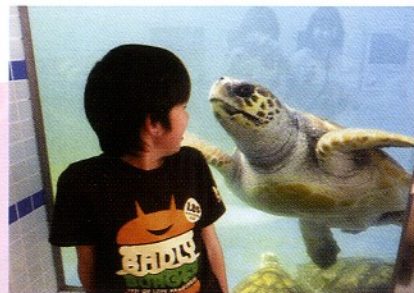
田上 修さん「天の川」

優秀賞/熊野古道センター賞

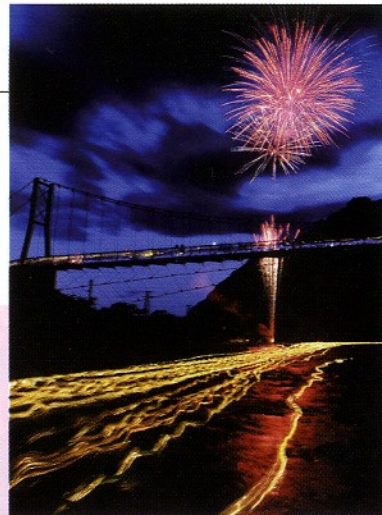
奥村敏之さん「ハラソ祭り」

優秀賞/東紀州観光まちづくり公社賞

倉中亀男さん「雨の石段(平尾井薬師)」
他、入選7名



【お気軽部門 最優秀賞】高山光さん「ウミガメと友達」



【とっておき部門 最優秀賞】田上修さん「天の川」

お気軽部門

最優秀賞

鳥山 光さん「ウミガメと友達」 他、優秀賞2名

※詳しくは熊野古道センターHPでご確認いただけます。



春の味覚!
~ツクシを味わう~

東紀州地域では、春になるとワラビやゼンマイ、イタドリやタラの芽、フキトウなどさまざまな山菜を、野山に採りに出かけるのも楽しみのひとつです。採ってきた山菜を天ぷらにして、揚げたてを食べると美味しいですね!

今回は、日当たりのよい土手や畑などに生えているツクシを使用し、ツクシのバター炒めをご紹介します!

まず、ツクシは茎についているハカマを取り除き、水でよく洗います。アツアツのバター炒めをご紹介します。水でよく洗い水切りしておきます。フライパンにバター少々、水切りしたツクシを入れ炒め、塩・コショウ、醤油少々で味を調え出来上がり! アツアツのご飯にあう一品です。春の味覚! ツクシを味わってみませんか。

和歌山県世界遺産センターからのお知らせ

「世界遺産 熊野本宮館」再オープン

一昨年9月の台風12号の被災により一時閉館をよぎなくされ、ご心配をおかけしましたが、おかげさまで平成25年1月1日に再オープンしました。同館内の和歌山県世界遺産センター展示施設も再整備し、従来の展示「熊野三山」「高野山」「参詣道」に、新たに「人とくらし」コーナーを加え、熊野・高野の生活誌が織り成す文化的景観、民話や伝承を紹介した魅力ある施設になっています。また、今年4月からは「3面マルチ映像」コーナーに臨場感あふれる60インチ×3面マルチ画面を設置し、世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」を紹介することになります。

是非、皆様リニューアルした「世界遺産 熊野本宮館」(田辺市本宮町本宮100-1)にご来場下さい。

※「世界遺産熊野本宮館」の再開館にともない、当センター事務所も田辺市本宮行政局1階より世界遺産熊野本宮館に移転しました。



熊野本宮館 北館

北館では、熊野三山や熊野参詣等に関するもの、『中右記』のレプリカ等を展示しています。多目的ホールでは、熊野本宮に関する映像が観られます。「熊野本宮語り部の会」コーナーでは、語り部さんにお気軽にお声をかけて下さい。



熊野本宮館 南館

南館では、世界遺産センター常設展示や3面マルチ映像を設置しています。また、田辺市、和歌山県世界遺産センター、熊野本宮観光協会、熊野で健康ラボ、田辺市熊野ツーリストビューロの各団体が業務を行っています。

その他 Guide&Tips

くまの・みち叢書6 「東紀州の四季を味わうレシピ集」を発売中!!

東紀州地域の食材を使用し、三重県立相可高等学校教諭 村林新吾氏の監修により、同校調理クラブの皆さんがレシピ制作・調理した51品が掲載されています!



レシピ集

イベント情報

Event Info.



企画展

幕末の写真師 田本研造~土方歳三を撮った男

熊野市出身で土方歳三を撮ったと言われる田本研造を顕彰する企画展。北海道各地で撮影した多くの開拓記録写真などを紹介します。

期間:平成25年3月16日(土)~5月19日(日) 午前9時~午後5時
入場料:無料
場所:企画展示室
共催:熊野市/熊野市教育委員会



熊野港明治初年



土方歳三(高館中央図書館蔵)

付属 イベント 体験教室

あなたもカメラマン!ピンホールカメラを作ろう

牛乳パックを使用して、カメラの原型といわれるピンホールカメラを作ります。
日時:4月28日(日)午前10時~12時 定員:15名(要事前申込・先着順)
参加料:300円 対象:小学生(小学3年生以下は保護者同伴)

場所:映像ホール
講師:熊野古道センター職員

企画展

東基石絵画展

日本洋画の礎を築いた黒田清輝に師事し、尾鷲で制作活動をしていた東基石の絵画展を開催します。町並みや人々の生活を描いた風景画の他、自画像や魚の絵などを展示予定。なかでも油彩画(23点)が貼られた枕びょうぶは、戦前の尾鷲の風景を見ることができる貴重な作品です。

期間:平成25年5月3日(金・祝)~7月28日(日) 午前10時~午後3時

入場料:無料
場所:研究収蔵棟特別展示室
※東基石の作品をお持ちの方で、展示にご協力いただける方は、熊野古道センター(TEL:0597-25-2666 担当:東)までご連絡ください。

体験学習

5/11(土)「春の里山自然観察会」

熊野古道センター周辺に広がる棚田や村嶋滝遊歩道を散策し、野草や樹木などを観察します。
◇時間:午前10時~12時
◇参加料:100円
◇定員:20名(要事前申込・先着順)
◇場所:熊野古道センター周辺の里山および体験学習室
◇講師:未定



5/5(日)「こどもの日の背くらべ・記念樹をつくろう!」

尾鷲ヒノキの間伐材と木の枝や貝殻などの自然素材を使い、自宅における身長計・記念樹をつくります。
◇時間:午前10時~12時
◇参加料:1台3,500円
◇定員:15組(要事前申込・先着順)
◇場所:熊野古道センターとその周辺の海辺
◇講師:武田製材、ひのき工房K'sFactory



毎週日曜日 あなたも木工作家!その場でできる木工教室

事前申込不要!!来館してその場で気軽に体験することのできる木工教室です。メニューは、お箸・しおりなどのひのきアート、木の動物・木のおもちやぶくろなど週替わりで開催します。
◇時間:午後1時~3時受付
◇参加料:200円~1,500円(申込不要)
◇場所:交流ロビー
◇講師:ひのきアート空楽風会員、(週替わり)川端一氏、大形弥生氏、畑中昇氏



月別ひのきアート教室

地元の特産品である尾鷲ヒノキを使ってのものづくり教室です。毎月第4日曜日開催。4月~8月は麻雀ゲームをつくります。※連続講座ではありません
◇時間:午後1時~4時
◇参加料:各1,000円
◇定員:各10名(要事前申込・先着順)
◇場所:体験学習室
◇講師:ひのきアート空楽風会員



新しい古道の歩き方

4/20(土)「ほかほかの里山に出かけよう!育生町山菜採りツアー」

熊野市育生町のまち歩きと山菜採りで春を満喫します。育生町で暮らす人と春の暖かさにふれるツアーです。
◇時間:午前10時~午後3時
◇参加料:2,000円(保険・弁当を含む)
◇定員:20名(要事前申込・先着順)
◇場所:熊野市育生町
◇講師:育生町自治会のみなさん



4/27(土)「昭和にタイムスリップ 須賀利でブラリまち歩き(仮)」

尾鷲市の飛び地須賀利地区を訪れ、日本のふるさと100選にも選ばれた景観を楽しみます。
◇場所:尾鷲市須賀利地区
※詳細は後日HP等でお知らせします。

